

「自然と共生する世界」の実現にビジネスから貢献
「いきもの共生事業所[®]※1」に「企業林版」を新設し、
2つの企業林がトライアル認証を取得

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会が運営する「いきもの共生事業所[®]認証(通称: ABINC: エイピンク)認証制度」では、このたび、「いきもの共生事業所[®]」に「企業林版」を新設するとともに、生物多様性保全に配慮した森林の管理に取り組む2つの企業林に対してトライアル認証を発行いたしました。

2021年のG7サミットでは、2030年までに生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」や、生物多様性の観点から2030年までに陸と海の30%以上を保全する「30by30目標」に取り組むことに合意しました。これを受けて、国内でもOECM(Other Effective area-based Conservation Measures)に関する様々な取組が開始されており、弊協議会の理念でもある「自然と共生する世界」を実現するための企業活動への期待が高まっています。

一方、企業では、施業(木材等生産)、環境保全(水源確保等)、開発用地など多様な目的で森林を所有していますが、これらの森林は計画的に維持管理されているものもあれば、未利用あるいは遊休のものもあるのが現状です。これら森林の植生は、その施業(管理)方針によって、天然林、天然生林、人工林などに分けること(ゾーニング)ができ、ゾーニングに応じて適切に維持管理すれば、木材等の生産だけではなく、炭素固定、生物多様性の保全、グリーンインフラ(防災)、生活環境、地域振興、観光、教育など様々な機能を発揮する可能性が高いと考えられます。

ネイチャーポジティブの観点からは、森林の所有目的にかかわらず、現状を把握したうえでネイチャーポジティブに向けた方針と計画を立て、適切な維持管理を計画的に行い、継続的に生き物や環境の推移を把握(モニタリング)し、維持管理計画を改善することで森林の有する生物多様性保全をはじめとした諸機能の発揮を促すことで、わが国のネイチャーポジティブの達成に貢献することが期待されます。

こうした背景を踏まえ、ABINCでは、2022年より先進的な取組みをされている企業林を保有する事業者の皆様へトライアルとして認証にご参加いただき、「いきもの共生森づくりガイドライン」((一社)企業と生物多様性イニシアティブ)や「生物多様性に配慮した森林管理テキスト」(森林総合研究所)等を参考にしながら、検討委員会において新制度の開発を協議してまいりました。本年7月の検討委員会において、「いきもの共生事業所[®]」の「企業林版」新設並びに認証取得基準に達している施設に「トライアル認証」を発行することが承認されました。

今後も、工場等を評価する「工場版」、都市再開発やショッピングセンター向けの「都市・SC(ショッピングセンター)版」、集合住宅向けの「集合住宅版」、物流施設や戸建住宅団地を評価する「戸建住宅団地版および物流施設版」、2023年に新設した「既存ゴルフ場版」、街区レベルの大規模施設を評価する「ABINC ADVANCE(アドバンス)版」と、幅広い用途に合わせた第三者認証制度を実施してまいります。

今回、トライアル認証が発行された施設は以下の通りです。(認証番号順)

認証企業林名称	主用途	事業者	所在地
クッチャロ自然の森だいでう	環境保全	大同特殊鋼株式会社	北海道浜頓別町
井川社有林	環境保全	十山株式会社 (特種東海製紙グループ)	静岡県静岡市葵区

※1 いきもの共生事業所[®]はJBIBの登録商標です。

※2 ビジネスによる生物多様性保全において先進的、積極的な取り組みを進める企業の集まりです。

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会では、今回申請いただいた施設の取り組みを活用し、認証制度の進化に取り組みます。また、今後、ガイドライン及び認証制度の普及・啓発を担う人材の育成に力を入れ、さらに認証の適用範囲を、工場、物流施設、集合住宅、戸建住宅団地、公共施設等に拡大していくことによって、自然や地域共同体と共生する土地利用に取り組みやすい世界の実現に貢献して参ります。



【一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)について】

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP10)において採択された愛知目標および生物多様性戦略計画で掲げられた、2050年までの長期目標「自然と共生する世界」の実現と、2020年までの短期目標「生物多様性の損失を止めるために効果的かつ緊急な行動を実施する」の実現のために、ビジネスの貢献が求められています。当法人は、「自然と共生する世界」の実現にビジネスの貢献を推進するために、自然環境と地域共同体への負荷をできるだけ外部化しようとしてきた企業活動のベクトルを反転させ、志をともにする団体と協働して、いきものと人が共生できるしくみを「創造」し、科学的・技術的に「検証」し、「事業化」を推進することを目的として設立されました。

【団体概要】

- 名称：一般社団法人いきもの共生事業推進協議会
[英文名: Association for Business Innovation in harmony with Nature and Community
＝略称ABINC(エイビंक)]
- 設立：2013年12月25日 ■連絡先：info@abinc.or.jp ■ホームページ：<http://www.abinc.or.jp/>
- 理事： 森本 幸裕 (京都大学 名誉教授) <会長>
原口 真 (MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
サステナビリティ推進部 TNFD専任SVP) <副会長>
足立 直樹 (一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ 理事・事務局長)
小松 裕幸 (清水建設株式会社 環境経営推進室 グリーンインフラ推進部主席マネージャー)
高塚 敏 (株式会社地域環境計画 代表取締役)
長澤 基一 (株式会社日本設計 ランドスケープ・都市基盤設計部 ランドスケープ設計グループ長)
村山 顕人 (東京大学 大学院工学系研究科 准教授)
- 監事： 梶谷 修 (一般社団法人 日本環境アセスメント協会 顧問)
渡邊 哲朗 (税理士法人渡辺総研)

<本発表に関するお問い合わせ先>

一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)事務局 事務局長: 安齊 健雄 担当: 渡辺・柴田
※事務局業務取扱い受託 MS&ADインターリスク総研株式会社
e-mail : abinc@catcorp.jp